



雨水管理設備の購入制度

スロバキア・ブラチスラヴァ

要約

ブラチスラヴァ市当局は、雨水管理設備の購入への補助金制度を導入し、洪水から街と財産を守り、被害を抑えるための協力を一般家庭に仰いでいる。

背景

ブラチスラヴァでは、気温やその他の気候変数の長期観測を続けており、空気中の湿度の変動が増大していることが示されている。20世紀にドナウ川の氾濫が繰り返し発生した後、市は大規模かつ移動可能なインフラを構築し、現在では1,000年および100年に一度の規模の洪水から都市を守っている。この年数はそのような洪水の予測頻度を示している。しかし、豪雨の影響は今なお続いており、適応性のある対応が求められている。

補助金制度

都市が豪雨に対する耐性を高める場合に最も直接的な解決策の一つは、保水力を高める対策を実施することである。これは、土壌をより透水性の高いものにするグリーン・インフラストラクチャーや、余水を封じ込めたり、水路に放水したりするためのグレー・インフラストラクチャーを通じて行うことができる。自治体は公共の空間でこれを行うことができるが、私有地においてはしばしば制約がある。

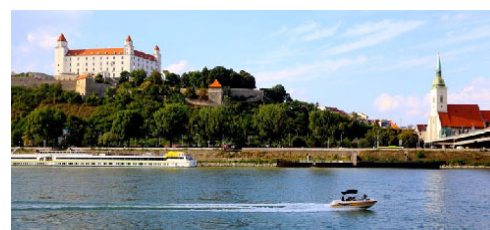
そのような難題を乗り越えるため、ブラチスラヴァ市は2016年に持続可能な水管理設備のための補助金を創設した。これには貯水池の建設、雨水庭園、小規模な緑化屋根、舗装の修繕、透水性材料の使用等が含まれる。対象は民間組織と一般家庭のみである。

この補助金の資金源はブラチスラヴァの市予算である。2016年の配分額は5万ユーロで、2017年には4万ユーロで再び行われた。この合計額は、約40～50人の申請者に分配されるものである。補助金は常に設置費用総額の50%をカバーし、1回の申請につき1,000ユーロを上限としている。この制度に加えて、申請者は、計画の実施と普及に関しブラチスラヴァ市が提供するコンサルティングを受ける。



土に埋められる前の雨水貯留槽

ブラチスラヴァ



人口：
422,932

面積：
367,584 km²

首長誓約署名年：
2012

CO₂ 排出削減目標：
2020までに
2005年比で
-20%

制度マネジメント

この補助金制度は、「ブラチスラヴァの気候変動への備え—都市部での持続可能な雨水管理の分野における施策の試験的適用」というイニシアチブのフォローアップとして創設されたもので、EEAからの助成金が85%を占める大規模なプロジェクト（330万ユーロ）である。

補助金申請の審査は、副市長、主任建築士事務所、戦略事業部、そして環境部で構成される補助金制度運営委員会で行われる。

2016年に市は16件の申請を受け、そのうち11件が対象となり、6件が事業を完了および運営することに成功した。そのほとんどが雨水タンクの購入・設置、雨水庭園の作成、不透水性の表面を透水性のあるものに交換、あるいは緑化屋根の設置などに補助金を使用した。

次のステップと得られた教訓

この施策は小規模であり、ブラチスラヴァの住民にはまだ完全に浸透してはいないが、比較的低コストで結果を出し、容易に再現可能な施策の好例である。ブラチスラヴァ市の例から学べることは、助成金の額を施策の平均コストに合わせて調整するよう徹底することである。補助金の額が少なすぎると利用者の応募意欲が減退してしまう可能性がある。

ブラチスラヴァ市では、補助制度は2020年まで継続される予定である。

重要
データ

プロジェクト期間： **2016-2017**

補助金額： **1,000**ユーロ

2016年に**16**件の応募



プロジェクトの資金調達

- +
 - +
 - +
- 資金源：**
自治体予算
- 総額：**
2016年に5万ユーロ、
2017年に4万ユーロ
- 投資リターン：**
計算されていない（回避された自然災害による保険支払額により計算は可能）

役立つリンク

- ▶ ブラチスラヴァの首長誓約プロフィール: <http://bit.ly/2Ckm4AZ>
- ▶ EEAが資金を提供するブラチスラヴァの気候変動適応プロジェクト (2014-2017)についてもっと読む: <http://bit.ly/2pNW4Hh>
- ▶ 気候-ADAPT – ブラチスラヴァのプロファイル: <http://bit.ly/2xe77uV>
- ▶ 応募公式ウェブサイト: <http://bit.ly/2xudg8j>



連絡先

プロジェクトについてもっと知りたい方は、ブラチスラヴァ市主任建築家事務所 Eva Streberová まで連絡を
eva.streberova@bratislava.sk